

『変わる世界とわたしの日常について』

第三話 「バイト先の人との距離感って絶妙すぎない？」

〈登場人物表〉

ほのか (20)

大学生。ファミレスでバイトしている。

みちる (20)

ほのかの大学の友人。バイト先も一緒。

店長 (37)

ほのか達のバイト先の店長。

鈴木 (20)

ほのか達のバイト先で働いている。

〈あらすじ〉

大学生のほのか(20)は友人のみちる(20)の勧めもあり、ワクチン接種を決意する。副反応に驚いたりもしたが、概ね健康状態は良好でバイト先にも出勤していた。しかし同僚の鈴木(20)が新型コロナウイルスに感染し、店が休業となる。そのことでコロナを身近に感じたほのかは、離れて暮らす祖母・とみこ(76)に電話をかける事に。

1
バイト先・通路

バイト先の休憩室。ワクチン接種を終えたほのかとみちるはバイトに出勤している。

バイトを終えて帰り支度をしていると、店長が通りかかって

ほのか・みちる 「お疲れ様です」

店長 「お疲れ〜。あ、エリアマネージャーからケーキ貰ったから食べてっていいよ」

みちる 「ありがとうございます！」

2
バイト先・休憩室

ほのかとみちる、休憩室内の椅子に座りながら

ほのか 「……あのや」

みちる 「何？」

ほのか 「いまめつつちゃ迷ってるんだけど」

みちる 「うん」

ほのか 「ダイエット明日からでいいと思う？」

みちる 「うわ、死ぬほどどうでもいい〜(笑)」

ほのか 「最近家居すぎてやばいんだって」

と、そこに鈴木がやって来て

鈴木 「お疲れ〜」

ほのか 「お疲れ〜」

みちる 「あれ、今日シフト入ってたんだ？」

鈴木 「うん…」

ほのか 「…何か顔色悪くない？」

鈴木 「いやー、昨日飲み過ぎちゃってさー」

みちる 「え、家で？」

鈴木 「それは、まあ…（外で飲んできた的なジェスチャー）」

みちる 「…え、路上とか？」

鈴木 「ん…（無言の肯定）」

みちる 「うわー、無理だわー。そういうモラルのない現代の若者

とか嫌悪しか感じない。謹んでお断りさせて頂きたい」

鈴木 「いや、お前も若者じゃんか(笑)」

鈴木はみちるに『ウェイ』的なノリを求めてくる
がみちるは塩対応で『ちよっと近づかないで』的
なノリで返す。それを見てほのかは苦笑している。

3. バイト先・通路

後日、バイトに出勤したほのかのみちる。

奥の事務所から店長の声が聞こえてくる。

店長 「もしもし、鈴木くん？…えっ！？」

4. バイト先・休憩室

休憩室内に入り、店長の元へ行く2人。

店長はちょうど通話を切っている。

ほのか 「店長、どうしたんですか？」

店長 「…いや、実はさ」

5. バイト先・店の外

バイト先に明かりはなく、従業員からコロナ陽性
者が出た為に休業する旨の紙が貼られている。

END